

TAY TWO



2013年1月16日

株式会社テイツー (JASDAQ 7610)

2013年2月期 第3四半期 決算説明会資料



<http://www.tay2.co.jp>

**2013年2月期 第3四半期累計期間
決算説明**

及び

2013年2月期 通期業績予想

2013年2月期 第3四半期累計期間 業績サマリー

● 比較損益計算書(個別)

(単位:百万円)	2012年2月期 3Q累計期間	2013年2月期 3Q累計期間	増減
売上高	24,880	23,522	△1,358
営業利益	274	429	+154
経常利益	281	448	+167
税引前純利益	△231	424	+655
法人税等	△36	217	+254
四半期純利益	△194	206	+401

経営効率向上による営業利益・経常利益の増加

税引前純利益・四半期純利益の黒字転換

● 比較貸借対照表(個別)

(単位:百万円)	2012年2月末	2012年11月末	増減
流動資産	7,852	8,039	+187
固定資産	4,367	4,495	+128
総資産	12,220	12,535	+315
負債	6,853	7,092	+238
純資産	5,366	5,442	+76
負債純資産合計	12,220	12,535	+315

経営効率向上

→ オペレーション改善による
店舗運営効率の向上
間接部門の費用削減

税引前・四半期純利益の黒字化

→ 前期に発生した資産除去
債務の過年度分一括償却
といった特殊要因が消滅

2013年2月期 第3四半期累計期間 比較損益計算書

(単位:百万円)	個 別		増 減	
	2012年2月期 3Q累計期間	2013年2月期 3Q累計期間	増減額	増減率
売上高	24,880	23,522	△1,358	△5.5%
売上原価	17,984	16,698	△1,286	△7.2%
売上原価率	72.3%	71.0%		
売上総利益	6,895	6,823	△71	△1.0%
売上総利益率	27.7%	29.0%		
販売費及び一般管理費	6,620	6,394	△226	△3.4%
販管費比率	26.6%	27.2%		
営業利益	274	429	+154	+56.4%
営業利益率	1.1%	1.8%		
経常利益	281	448	+167	+59.5%
経常利益率	1.1%	1.9%		
四半期純利益	△194	206	+401	黒字転換
四半期純利益率	△0.8%	0.9%		
1株当たり四半期純利益	△375円	399円		

2013年2月期 第3四半期末 貸借対照表【個別】

(単位:百万円)	2012/2末		2012/11末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	7,852	64.3%	8,039	64.1%	187
現預金	2,612	21.4%	2,485	19.8%	△126
売掛金	300	2.5%	370	3.0%	70
有価証券	300	2.5%	—	—%	△300
商品	3,907	32.0%	4,532	36.2%	624
貯蔵品	23	0.2%	39	0.3%	16
その他	708	8.3%	610	4.9%	△98
固定資産	4,367	35.7%	4,495	35.9%	128
有形固定資産	1,558	12.8%	1,523	12.2%	△34
建物及び構築物(純額)	853	7.0%	820	6.5%	△33
その他(純額)	704	5.8%	702	5.6%	△1
無形固定資産	284	2.3%	325	2.6%	41
投資その他の資産	2,525	20.7%	2,646	21.1%	121
差入保証金	1,262	10.3%	1,251	10.0%	△11
その他	1,262	10.3%	1,395	11.1%	133
総資産	12,220	100.0%	12,535	100.0%	315

(単位:百万円)	2012/2末		2012/11末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	6,853	56.1%	7,092	56.6%	238
流動負債	3,423	28.0%	3,742	29.9%	318
買掛金	893	7.3%	1,885	15.0%	991
短期借入金	750	6.1%	—	—%	△750
1年内長期借入金	781	6.4%	630	5.0%	△151
未払法人税等	—	—%	225	1.8%	225
その他	998	8.2%	1,000	8.0%	2
固定負債	3,429	28.1%	3,350	26.7%	△79
長期借入金	2,255	18.5%	2,311	18.4%	56
資産除去債務	406	3.3%	413	3.3%	6
その他	767	6.3%	624	5.0%	△143
純資産	5,366	43.9%	5,442	43.4%	76
株主資本	5,359	43.9%	5,442	43.4%	83
評価・換算差額等	△0	△0.0%	△2	△0.0%	△1
新株予約権	7	0.1%	2	0.0%	△5
負債純資産合計	12,220	100.0%	12,535	100.0%	315

2013年2月期 第3四半期累計および会計期間の状況

○ 売上高の状況

マルチパッケージ販売事業については、計画どおりの売上高で推移。

3Q累計

- リアル店舗部門においては、
 - ✓ 新品商品はほぼ前年どおりで推移。
 - ✓ リサイクル品は前年割れとなり低調。
- EC部門は、順調に推移。

3Q会計期間

- リアル店舗部門においては、
 - ✓ トレカパーク設置によりトレーディングカードの売上好調に。
 - ✓ その他の新品・リサイクル品は前年割れとなり減収。
- EC部門は、引き続き順調に推移。

○ 利益の状況

前年同期比で減収とはなったものの、売上総利益はほぼ前期並みを維持。
ローコスト・オペレーションにより、営業利益・経常利益は増加。四半期純利益も黒字に転換。

3Q累計

- ローコスト・オペレーションの推進により店舗運営効率の向上、間接部門の経費削減が進み、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前年同期比で増益。

3Q会計期間

- 売上高の減少により、売上総利益も減少。
- それに伴って、営業利益・経常利益も減少。
- 四半期純利益については前年同期比では増益。

○ 出店の状況

当期より新規出店戦略を再開（⇒ P.11 詳細説明）

3Q累計

- 古本市場(2店)、TSUTAYA単独店(2店)、3Bee(1店)の計5店舗を新規出店。

3Q会計期間

- トレカパークを併設した古本市場三芳店、古本市場羽曳野店の2店舗を新規出店。

2013年2月期 業績予想

(単位:百万円)	2012年2月期 実績		2013年2月期 計画		前期比	
					増減額	増減率
売上高	36,188	100%	36,000	100%	△188	△0.5%
営業利益	740	2.0%	800	2.2%	59	7.5%
経常利益	739	2.0%	800	2.2%	60	7.6%
当期純利益	△19	△0.1%	430	1.2%	449	-
EPS	△37円		831円			

利益配分に関する基本方針

- ① 業績に応じた配当の実施(配当性向25%以上) ② 将来の事業展開に備えた内部留保の充実

配当性向の実績と計画

	第18期(実績) 2007/3-2008/2	第19期(実績) 2008/3-2009/2	第20期(実績) 2009/3-2010/2	第21期(実績) 2010/3-2011/2	第22期(実績) 2011/3-2012/2	第23期(計画) 2012/3-2013/2
当期純利益	634百万円	138百万円	741百万円	387百万円	△19百万円	430百万円
配当金	131百万円	130百万円	153百万円	134百万円	113百万円	113百万円
配当性向	20.8%	94.7%	20.7%	34.7%	-	26.4%

※21期までは連結当期純利益および連結配当性向

2013年2月期

下期に向けた施策・戦略

Reset Everything ~ テイツーは変わります

既存事業の状況

前年同期比で減収とはなったものの、3Qまではほぼ期初計画通りに推移。

売上高の状況（前年同期比）

	2013/2期 2Q累計	9月	10月	11月	2013/2期 3Q累計
リアル店舗					
既存店	99.5%	83.5%	92.3%	96.4%	96.6%
全店	99.2%	83.0%	91.9%	97.4%	96.4%
EC					
EC	148.1%	110.5%	115.7%	167.5%	141.4%

- 業務の効率化・収益性の向上に向けたローコスト・オペレーションへの取り組みについても、期初の目標を達成。
- 前期、前々期を超える利益率水準を達成。



- 3Qより次ページ以降の戦略・投資を実行し、来期以降の成長を目指す

既存事業の強化に向けた投資

上期の業績好調分を、当下期では来期以降の収益に資する戦略投資へと充てる。

既存事業の強化に向けた新規投資の実施

新規出店

来期以降の売上高の拡大に向けて、当下期より、新規出店を積極化。

既存店強化

収益力強化に向け店舗改装等の投資を実施。

新規商材の売り場拡大などへ重点的に投資。

新規商材

古本・ゲームに続く新たな商材の導入と強化を行う。

既存店の収益力の更なる向上を図る。



ローコスト・オペレーション

業務の効率化、ローコスト・オペレーションの推進により、販管費を大きく低減し、利益率の向上を図る。

短期的な業績の向上だけではなく中長期の成長を目指す経営戦略を実施。

当下半年期からは、既存事業の強化に向けた戦略的な投資を実施。

新規出店の積極化

既存事業の更なる成長を目指すため、当下期より新規出店を積極化。

	13/2期 上半期	合計	13/2期 下半期	
			3Q	4Q(予定)
古本市場直営店	—	3	2	1
3Bee	1	2	—	2
TSTAYA(単独店)	2	—	—	—
合計	3	5	2	3

上半期は
3店舗の
新規出店



TSUTAYA衣笠店



3Bee村岡店



TSUTAYA横須賀堀ノ内店

下期は5店舗を出店(予定)

3Qに出店した羽曳野店・三芳店は、トレカパークを併設した新型店舗



古本市場 羽曳野店



トレカコーナー



古本市場 三芳店

既存店強化・新規商材 トレカの拡販

トレカの拡販により、ゲーム・古本に続く第3の柱へ。

現在のトレカ市場は1000億を超える規模まで成長。ゲーム・古本と並ぶ第3の柱になる可能性を秘めた商材として、拡販に向けた取り組みを強化。

トレカパーク トレカ買取・販売
無料デュエルスペース完備

① 商品スペースの改装

拡販に向けて、売り場面積を拡大。
整然と陳列されたショーケースで見易さ・買い易さを追求した商品陳列を実施。



② デュエルスペースの設置

大人数での大会にも対応できる大型のデュエルスペースを設置。



3Q末までに、15店舗において
トレカパーク導入



←商品スペース

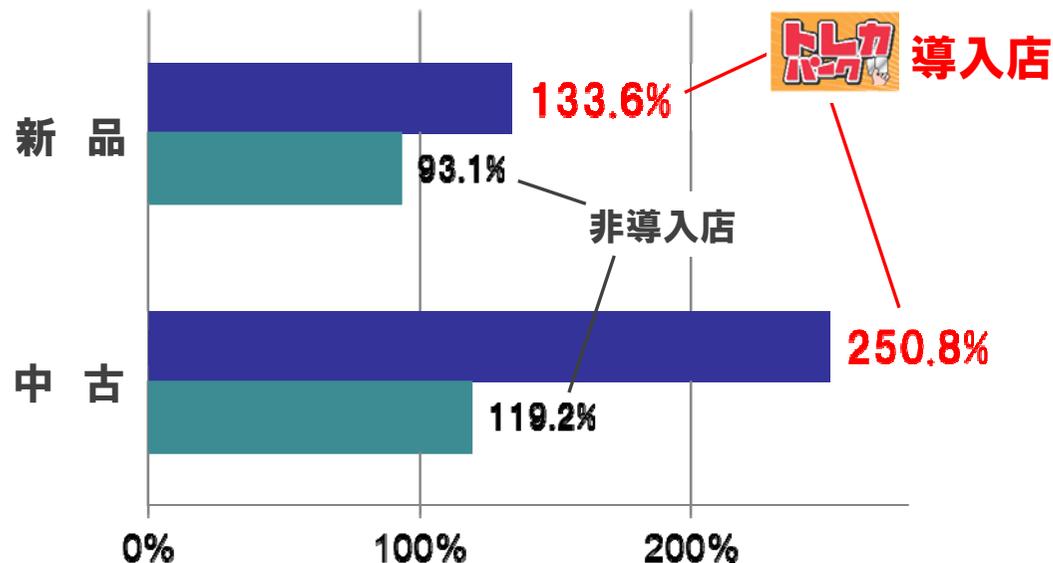
↑デュエルスペース

既存店強化・新規商材 トレカの拡販

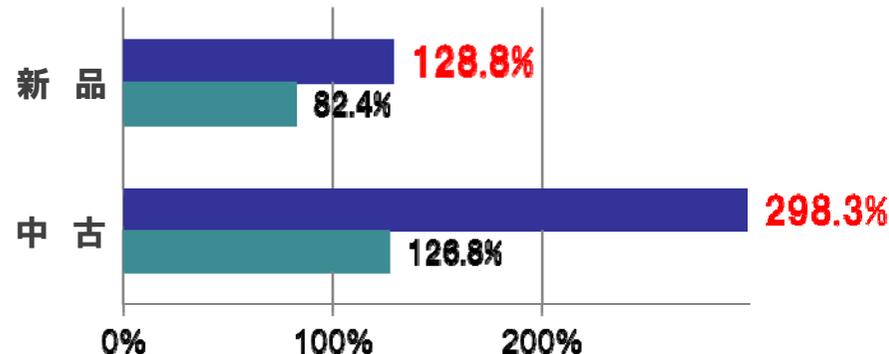
トレカパーク導入店は開設直後から大きく売上高が拡大。今後もさらなる拡大を目指す。

新作に大型作品がなかった10・11月も新品売上が増加。リサイクル品は前年同期比2.5倍。

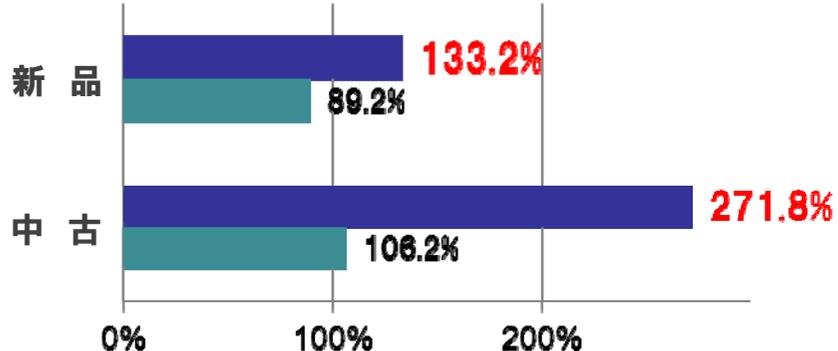
3Q累計 トレカ売上高（対 前年同期比）



10月月次 トレカ売上高（対 前年同月比）



11月月次 トレカ売上高（対 前年同月比）



導入店においては、売上の大幅拡大に対して
確実な効果があることを実証

➡ 今後は、新店・既存店への導入を図るとともに、
既に導入済店舗においても、運営・販売ノウハウ
の蓄積により、売上高のさらなる拡大を目指す。

※月次については、店舗によりトレカパークの開設月に差があること
前期は販売実績のない店舗があることから、比較可能店のみで
計算しております。

新規事業・その他

○ ペットサプリメント事業

WEB通販のみ専売から、リアル店舗でもユーザーが購入できる販売体制へと販路を拡充。

○ プリペイドカード事業

事業開始に向けて、ビジネスパートナーとの交渉を進行中。
サービス開始に向けて、諸手続きを含めて順調に準備が進行中。

○ ゲーム情報サイト事業

「げむたま」に加え、よりライト・ユーザー向け情報サイト「げむココ」をオープン。
本来のターゲットであるミドル、ライトユーザー向け情報サイト「げむココ」に
「げむたま」を統合しリソースを集中。

○ POSAシステムの導入

全店にPOSAシステム導入完了、各種カード販売は順調な立ち上がり。

ローコスト・オペレーション

業務の効率化、ローコスト・オペレーションにより、販管費を大きく低減。

将来の成長に向けた事業への投資は行いつつも、管理コストを大きく低減。

(単位:百万円)	2012/2期 3Q	2013/2期 3Q	増減
全社販管費	6,620	6,394	△226
営業部門	5,766	5,688	△77
間接部門	746	683	△63
その他	107	22	△84

間接部門に関する販管費が前年同期比で大きく減少

➡ アイ・カフェ部門の事業譲渡の影響を除いても、業務の効率化により経営コストが低下。

(単位:百万円)	2012/2期 3Q	2013/2期 3Q	増減
間接部門販管費	746	683	△63
役員関係	113	91	△22
役員関係除く	633	591	△41
経営企画	64	117	53
管理部門	568	473	△94

役員関係の費用が減少

その他間接部門にしても前年同期比で大きく減少

➡ 経営企画の費用増は、新規事業に関するもの。先行投資を行いつつも、全体コストを低下させる費用コントロールを実施。



TAY TWO

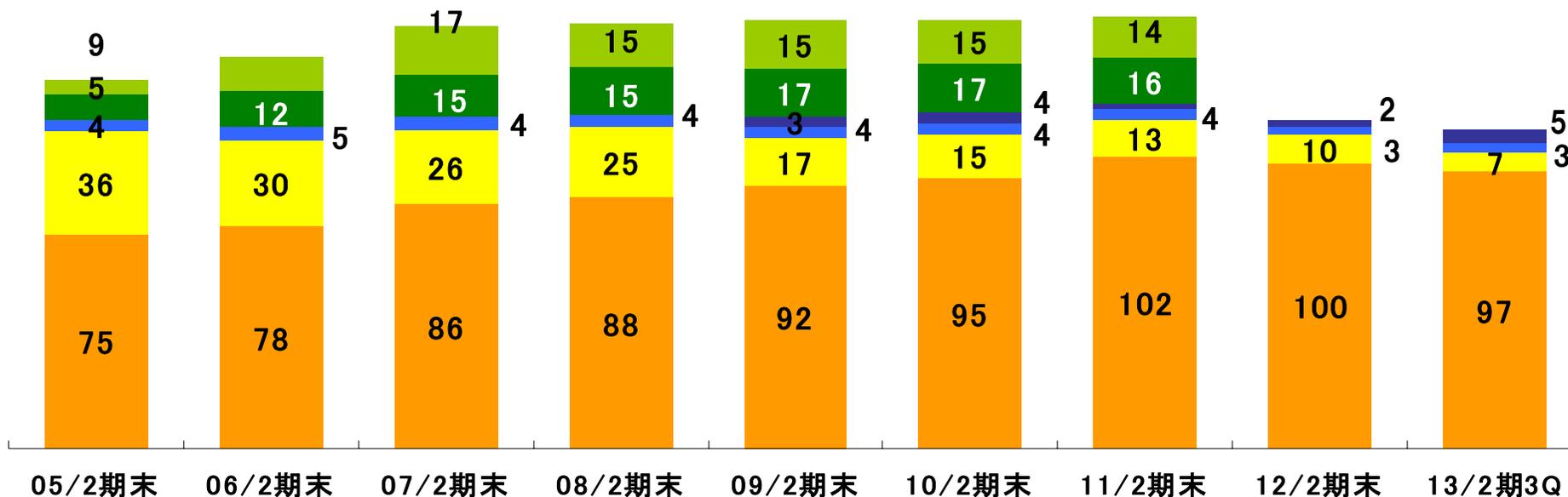
參考資料

会社概要

社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日：JASDAQ
本社	岡山県岡山市北区今村650番111
東京本部	東京都品川区西五反田7-1-1住友五反田ビル5F、6F
代表者	代表取締役社長 堀 久志
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取 及びビデオレンタル業務、コンビニエンスストア「Family Mart」の運営 2.インターネットサイト「furu1online」の運営
従業員数	正社員 375人、パート・アルバイト 1,388人 計1,763人(2012年12月末現在)
資本金	1,165百万円(2012年12月末現在)
発行済株式数	526,400株：単元株制度なし(2012年12月末現在)
株主数	5,740名(2012年8月末現在)

〔ご参考〕 2013年2月期 第3四半期 店舗の状況

■ 古本市場 直営店 ■ 古本市場業務提携・FC店 ■ ブック・スクウェア直営店 ■ その他 ■ アイ・カフェ直営店 ■ アイ・カフェFC店



	2012/2期	2013/2期 3Q			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場直営店	100	2	5	97	△3
古本市場業務提携・FC店	10	—	3	7	△3
ブック・スクウェア直営店	3	—	—	3	—
3Bee(スリービー)直営店	—	1	—	1	1
TSUTAYA(単独店)	—	2	—	2	2
Family Mart	2	—	—	2	—
合計	115	5	8	112	△3

More Friendly 

～もっと親しみやすく～

本資料は、2013年2月期第3四半期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2013年1月16日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：経営企画部 藤巻、宮、中村
TEL：03-5719-4775 FAX：03-5719-4583
E-mail：ir@tay2.co.jp

URL: <http://www.tay2.co.jp>